

ふうせん号

花盛り

263号

抗酸化工法を
あそび隊
ニュース

環境回復サロン笑みなさんからの報告です。

笑みなです。最近 初来店店されるお客様にがん患者の方がとても多くなりました。検査の結果ガンと診断され 手術をして再発防止のため抗がん剤治療を勧められ 副作用で髪の毛が抜け 色素沈着で指先が黒ずみ 手房しびれで運転も出来ず 指先の皮がむけて日常生活に支障が出、水を飲むことも食事でも喉を通らなかつた。ただひたすら副作用に苦しむ日が続く。本当に再発も転移もしないと保障されるならそれでもその苦痛も三ヶ月だけだと必死にがんばっているけど・・・再発や転移をしたら抗がん剤治療との戦いは生き延びる限りずっと続くと 医者に言われたら・・・それでも あなたは治療を続けますか？

二年前の会社の健康診断の胸部X線検査の結果 左下肺に異常陰影の疑いあり。胸水の疑いあり、要病院受診との結果が出ました。お父様がガンで亡くなられたときの壮絶な闘病生活を見て、もし自分がガンになっても 抗がん剤だけはやるまゝと心に強く決めていたそうです。そして病院側の詳しく検査が必要との意見を断り、インターホンを笑みなを見つけてから間もなく、キキニバック制

度を利用して笑みなに毎日通い始められたO様です。そのころ腫瘍の大きさは直径八センチまでになっていたそうです。今までの生活を省みて抗酸化還元水を作り、抗酸化米を購入し、抗酸化味噌を作り、抗酸化パン、大好きなラーメンは抗酸化麺

結果が出たということでもO様に報告書を見せてもらいました。今回の所見 左中肺 左下肺に胸膜肥厚とのみ記入されていて、胸水の疑いという文字は消えていました。胸膜肥厚とはどう言うことなのかを念のため調べてみました。「胸膜とは肺を覆っている膜のことです。炎症を起して治療すると、胸膜が厚くなって傷跡のようなものが残ることがあり、これを胸膜肥厚といいます。」とありま

た腫瘍らしきものが見えなかったそうです。それがどんなものなのか、今後どのように治療していくのか未定ですが、S様は今こうして元気で居られるのは笑みなさんのおかげだと思つて本当に感謝していると言つて下さいました。S様は「医者から抗がん剤は生きている限りずっと続ける必要があると言われたと聞き、私はどこかで自分の体とよく相談して、方向性を決めなければならぬのでは」とS様に伝えました。

抗酸化グッズを床壁 天井に至るまで全てに塗り、セミナーに参加されて抗酸化のペンダントを購入し身に付け、フイタン黒酵母発酵キヌを毎日飲み、深遠の吸入をし、深遠のお守りをぶら下げ、笑みなで勧めることはすべて行ってきました。その結果 一年前の健康診断では左中肺 左下肺に胸水の疑い、胸膜肥厚精密検査が必要との所見、その結果を見、O様は少々おかりされて、一年間ほぼ毎日通いながらも期待した結果が出なかつたと仰っていました。

また、大腸ガンの手術後肝臓に転移がみられ、笑みなに毎日通っているS様、まだ小さいお子様がいらしゃる若ママさんです。フイタン黒酵母発酵キヌを飲み、深遠の吸入も行っています。抗がん剤しか方法はな

・九月九日 且がん患者の方を対象に会田伸一先生のセミナーを行います。皆さんでガンの治療のこと、悩み等意見交換をしながら、病気を克服するために抗酸化をどう取り入れたらいいのか考える会にしたいと思つています。詳細は笑みなまでお問い合わせいただくか、HPの、お知らせをご覧ください。

二年間の毎日通いながらも期待した結果が出なかつたと仰っていました。それでも私はガン細胞が大きくなっているとは書かれていなし、胸水が溜まっていると書かれてはいるけれども、息苦しさや咳が出ていることも無く、顔色もよく、何よりもご自分の体が元氣かどうか分かるのはO様自身ではないのですかと、励ましました。それから一年、今年の検査の結果

耐えながら、それでも家族や友人に支えもらいながら毎日笑みなに通つています。なんとかS様を助けた！先日、全身の検査を受けてその結果が出たそうです。今回の検査前に大腸ガンの腫瘍マーカー値は、ぶん低くなつていたそうですが、今回医者も驚くほど肝臓の腫瘍が小さくなつていたそうです。ただ、卵巣にま

座談会 セミナー開催のご案内 第1部 (座談会) : 9月8日(日) 午後1時~4時 第2部(セミナー) : 9月9日(月) 午前9時~12時 第3部(座談会) : 9月9日(月) 午後1時半~4時半
場所 : 笑みな (陶板浴入浴券付き) 参加費 : 5,000円(ゼロ磁場誘導力) ード他プレゼント お申込は8月31日まで。